

3月8日、初開催のハーフマラソンも含め、約850人のランナーが春の高麗郷を駆け抜けました。

パリ2024オリンピック・東京2025世界陸上マラソン男子日本代表で日高市出身の小山直城選手をゲストランナーに迎え、記念すべき第50回大会を盛り上げていただきました。

# 第50回日高かわせみマラソン大会



市民カメラマン 大河原保夫さん、鯉沼治夫さん、鈴木國昭さん、辻伸二さん、寺側厚博さん、富田康代さん、平田源二さん撮影

3/1

## 古民家彩る、春の顔



高麗郷古民家ひなまつりを開催しました。会場はひな人形やつるしびなどできれいに飾り付けられました。イベントでは、奏者が優雅にお琴を演奏する中で、子どもたちは、おだいり様やおひな様の衣装に身を包み、大人たちはそんな子どもたちの健やかな成長を願っているようでした。(市民カメラマン大河原保夫さん、金指恵理子さん、鯉沼治夫さん、鈴木國昭さん、辻伸二さん撮影)

# あなたの まちから

広報に掲載した写真をプリントして本人に差し上げています。市政情報課広報・市政情報担当まで郵送先をご連絡ください。



3/13

## 感謝を胸に踏み出す一歩



武蔵台小中学校で卒業式が行われました。今年は義務教育学校で初めて入学式を行った生徒たちが卒業しました。式では、校長先生から卒業生に向け「感謝の心を忘れず、命・誠実・ふるさとを大事に」と、門出に相応しい温かな言葉が贈られました。9年間の思い出を胸に、退場する卒業生たちの姿は、希望と頼もしさにあふれていました。ご卒業おめでとうございます！